

ニセコ昨シーズンと今シーズン最低気温の比較

昨シーズン 2010. 11. 1-2011. 3. 31

今シーズン 2011. 11. 1-2012. 1. 26

今シーズンのニセコは昨シーズンに比べて、何だかとても冷え込む日が多い気がします。そんな“気がする”という感覚を少し分かり易く数値で表して比較してみました。

昨シーズンの最低気温TOP 5 今シーズンの最低気温TOP 5

1位	-17.2℃	2011. 2. 6	1位	-20.6℃	2011. 12. 9
2位	-16.9℃	2011. 3. 4	2位	-19.8℃	2012. 1. 20
3位	-15.1℃	2011. 1. 23	3位	-19.4℃	2011. 12. 22
4位	-14.6℃	2011. 1. 25	4位	-19.2℃	2011. 12. 30
5位	-14.5℃	2011. 2. 15	5位	-17.9℃	2012. 1. 8

今シーズンはまだ終わっていないので、昨シーズンより選出する期間が少ないですが、現時点ですでに昨シーズンよりも冷え込みの度合いが高くあるようですね。

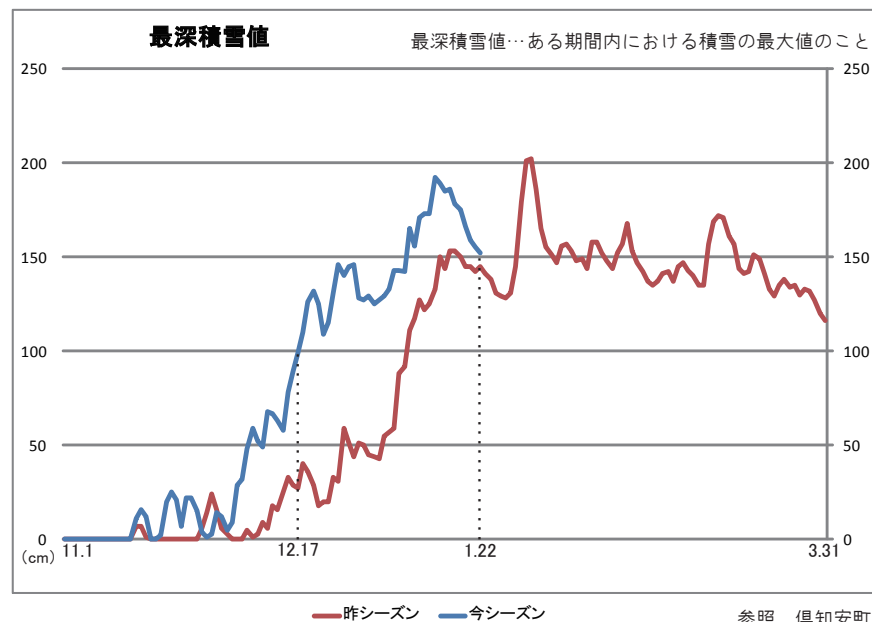
参照 yahoo! 天気・災害 後志地方(倶知安)



雪の結晶の形は千差万別

ニセコ昨シーズンと今シーズン降雪量の比較

今シーズンは昨シーズンに比べ、どうも雪の量が多いと言われている。グラフで見ると一目瞭然。2012. 1. 22の時点では、さほど昨シーズンと変わりありませんが、12月を見て見ると違いが出ています。除雪が間に合わない! そんな声があちこちから聞こえてくるわけです。ただし、これは二年分を比べただけなので、これを見て今年が特別に多いかどうかは別。それを見るには過去数年分の記録と比べてみる方が良いでしょう。



(ねよーみ)

2012年
1月26日

発行: NPB

ねよーみ (村上尚美)

なつ (葛西奈津子)

雪の少ない土地で育ったせいか、子供の頃は雪が降ると手袋や靴下がびしょびしょになっても構わず遊んでいました。寒なっていられなくなると、家に一端戻り、手袋をストーブの前に置いて乾かします。でも、乾くのも待ち切れずまだ濡れた手袋をつけて何度も外に出るほど、当時は雪遊びが楽しくて仕方ありませんでした。大人になった今ではそこまですませんが、それでも何するでもなく、雪をこねくり回したりねっ転がったりするのが今でも楽しいです。童心に戻ってそんな遊びしてみるのも楽しいかもしれませんよ。

ニセコラム

「サンピラーとオーロラ」

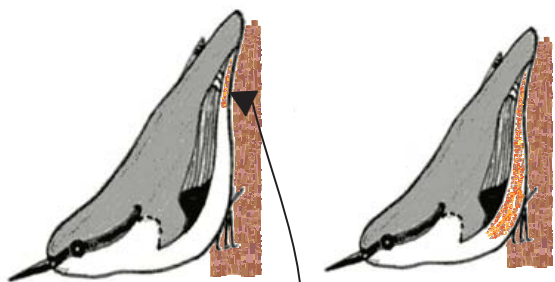


先日、ニセコのあちこちで霧氷やダイヤモンドダストが見られました。ダイヤモンドダストは、気温が -20°C 以下に下がったとき、空気中の水蒸気が小さな板状の氷晶となり、太陽の光があたって輝くものです。小さな氷晶は空中に浮かんで雪よりもずっと遅く落ちてきますが、このとき条件が整えば、反射した光が柱状に見える「サンピラー」が出現します。まるで雪原からによっきり生えた光るタケノコのようなサンピラー。ダイヤモンドダストが出た日は要チェック!

もう1つ注目の現象はオーロラ。北海道では約10年に1度、空が赤く染まるオーロラが観測されています。今年は太陽活動が活発で、オーロラ出現の可能性大! 夜が長い冬こそ観察のチャンスです。

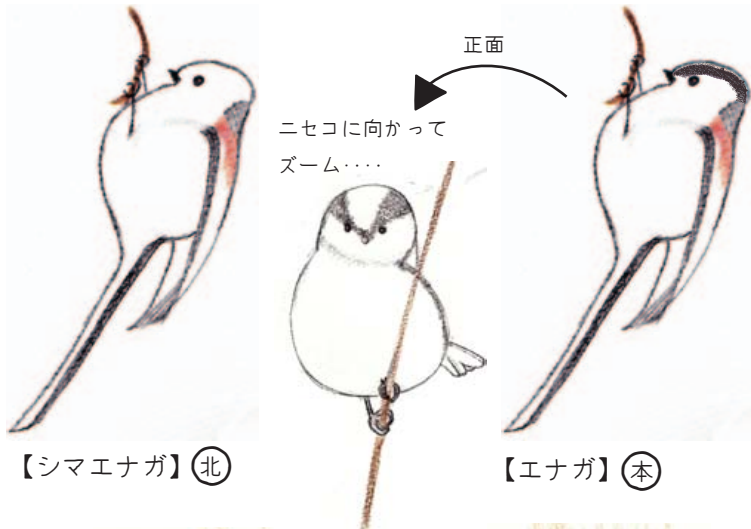
(なつ)

【今月のテーマ】北海道と本州とで違いのある鳥たち



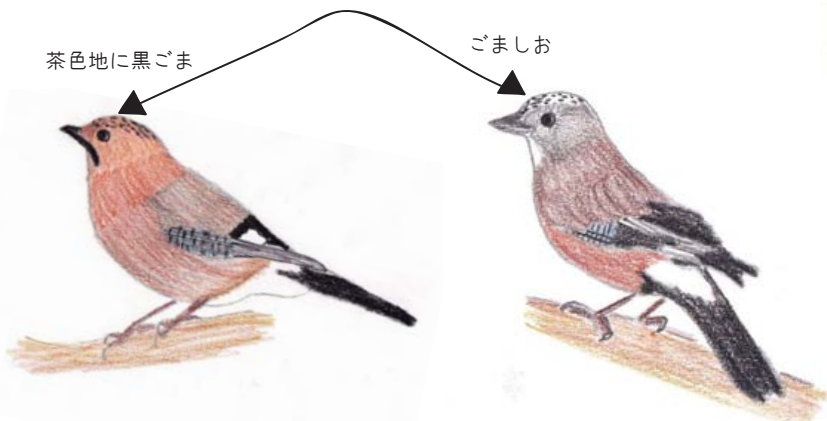
【シロハラゴジュウカラ】**北** 【ゴジュウカラ】**本**

ココを見て
けつくされ、とか、しりぐされ…
そんな風に呼ぶ人もいる



【シマエナガ】**北** 【エナガ】**本**

正面
ニセコに向かって
ズーム……



【ミヤマカケス】**北** 【カケス】**本**

茶色地に黒ごま

ごましお

どちらもどんぐり大好き



【ヤマゲラ】**北** 【アオゲラ】**本**

黒まだら模様

葉が落ちて視界が開けた冬の森は、夏に比べ鳥の観察がしやすくなっています。そんな鳥たち、北海道と本州とで似てるけど少し違うのがあることはご存知ですか？普段よく目にしているものの中には、他の地域に行ったら実はちょっと違うのがあるかも…。

夏の間は山奥で生活し、食物が乏しくなる秋から冬にかけて人の生活圏近くまで移動するカケス。本州にいたのが「カケス」で、北海道にいたのがその亜種で「ミヤマカケス」。頭のゴマダラ模様の違いが特徴。山へ行けば夏でも見ることはありますし、山が近いニセコではカケスもまた身近な存在です。

白く丸々とした体が特徴的なエナガ。目の上に眉毛のような黒いラインがある本州の「エナガ」と、北海道にいるマシユマロのごとく顔も体も白いのがその亜種「シマエナガ」。このシマエナガ、幼鳥の頃は本州のエナガのように目の上に黒い線がありますが、成長すると黒いラインは消え白くなります。ニセコでは比較的良く見ます。

パステルグリーンの体が個性的な印象を受けるキツツキ、本州は「アオゲラ」、北海道は「ヤマゲラ」。お腹の黒い模様の有無が特徴。それほど頻繁に見る鳥ではありませんが、春先や秋口に尻下がりのちょっと高めの声で「ヒィヒィヒィヒィヒィ…」(ねよーみにはそう聞こえる)と鳴いているのを耳にしたりします。2011.4.23 半月湖でつがいの姿を確認しています。

ここに挙げたのは、ほんの一例。鳥類以外にも、哺乳類・両生類・爬虫類・昆虫でも違いがあつたものもいます。普段は、亜種名まできちり言う必要もないですが、こんなのもいるということです。自分が住んでいる所と違う地域に行ったら、そのことをちょっと意識してみてくださいね。

《亜種とは》地理的な要因から、形態的(大きさ、形、色彩など)に一定の違いが見られるもの。

(ねよーみ)

【ねよーみの自然観察メモ】

今シーズン一番の冷え込みは -20.6℃(2011.12.9)
冷え込み記録は 2012.1.26 現在

📏 -19.4℃	今シーズン三番の冷え込み	倶知安	12/22	🐦 ムクドリ	ナナカマドの実食す	倶知安	1/12
📏 -19.2℃	今シーズン四の冷え込み	倶知安	12/30	🐦 ヒヨドリ	4羽程度集団で頭上通過	半月湖	1/16
🐦 ツグミ	ナナカマドの実食す	倶知安	1/4	🐦 オジロワシ	2羽で上空通過	倶知安	1/17
🐦 キンクロハジロ	ペア複数	京極	1/7	🐦 ツグミ	5~6羽で群れてた	倶知安	1/19
🐦 オジロワシ	下面がまだら模様	岩内	1/9	📏 -19.8℃	今シーズン二番の冷え込み	倶知安	1/20
🐦 オジロワシ	カラスに追いかけてた	寿都	1/9	❄️ ダイヤモンド・ダスト	平地でもはっきりと	倶知安	1/20
				🐦 エゾリス	足跡多数	倶知安	1/23